

The background is a white surface scattered with various colorful paper scraps in shades of orange, red, blue, green, yellow, and purple. Some scraps are simple rectangles, while others are more complex shapes like triangles and irregular polygons. A black stapler is positioned in the upper right quadrant, angled towards the center. The text is centered on the page.

ラッコルタ

- 創造素材ラボ -

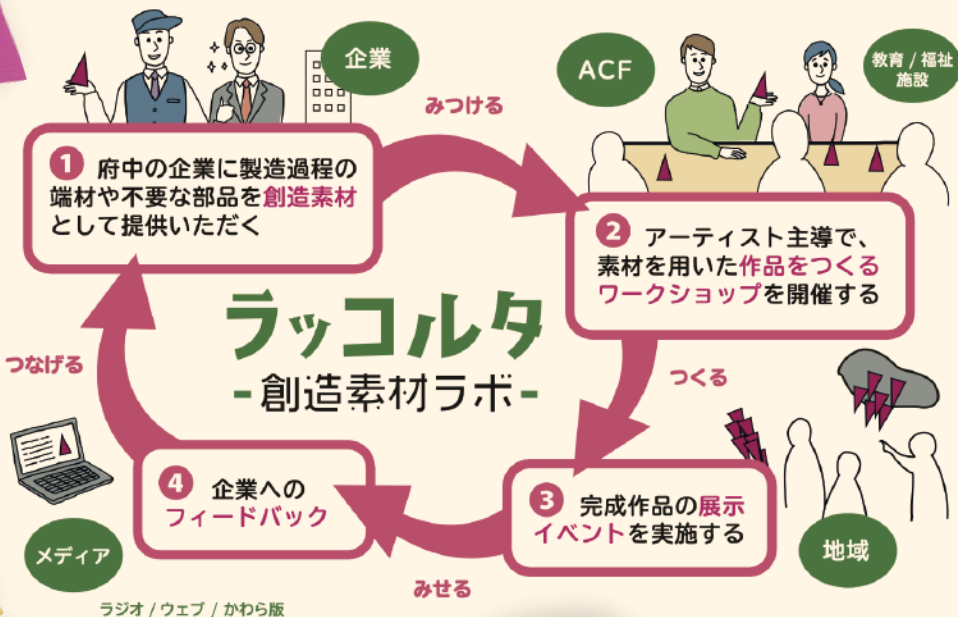
ラッコルタ - 創造素材ラボ - とは？

モノを介在した 地域の出会いと繋がり。
アートの視点を通した新たな発見。
視点を変えると、意味が変わり、価値が変わる。

地元企業に不要な部材を提供していただき、それらを表現のための創造素材として再活用する仕組み「ラッコルタ - 創造素材ラボ -」。アーティストの長年のリサーチを素材に落とし込み企画されたワークショップにて、子どもや大人が表現活動に取り組みます。身近にあるモノを違う視点から捉える機会を創出し、アーティストの視点を通して、新たなものの見方を獲得するラーニングプロジェクトです。

NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ (ACF) が、府中市や東京都の自治体と協働しながら、アートと社会を繋ぐプロジェクトとして始動。令和3 - 4年度市民提案型協働事業として府中市の文化生涯学習課、また「東京アートポイント計画」の一環で東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京と共催してきました。

自治体、企業、教育 / 福祉機関、アーティストなど異分野の人々が繋がり、新たな価値を共創する事業を実現しています。



創造素材 提供いただいたモノの一部をご紹介します。



梱包材 段ボール小片
株式会社 TOKIO Lab



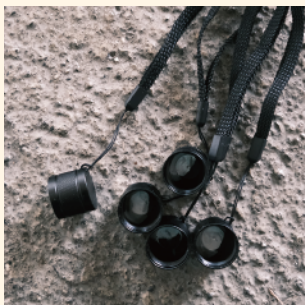
お墓の石材 見本
玉川石材工業株式会社



糸管
株式会社 協和



ランドセル人工皮革
樋口靴工房株式会社



懐中電灯キャップ
日本光具株式会社



布
サトー洋裁教室



カッティングシート
GREEN



飲食店の容器
株式会社 サークス



蹄鉄 (ていてつ)
一般社団法人 まちづくり府中



木の端材
株式会社 東京チェーンソーズ



洋服生地 of 端材
株式会社 F.F.P.



人工歯
矢島歯科医院

ラッコルタの事業 主に3つの事業を展開しています。

01 アーティスト ワークショップ

アーティストのコンセプトや探究の視点を素材に落とし込んで実現したワークショップと成果展。身体で素材とふれあい、新たなものの見方や、柔軟な発想力を養うきっかけをつくります。素材の価値が変化し循環するプロセスを共有することによって、企業の方々にもアートとの関わりが継続的に続いていくことを期待しています。

アーティストの視点を体得する機会として、Vol.1～3を実施しました。

2021年12月

vol.1「暮らしの彫刻」

三木麻郁 + 株式会社 TOKIO Lab (梱包材)

日々の生活の中で、「彫刻」を体験する。時間や空気、心の動き、目には見えないものを削り、削ぎ落とす。



2023年2月

vol.2「いしのこえとみかげ」

MATHRAX + 玉川石材工業株式会社 (墓石見本)

「自分」と「石」との関係性を見つめる。それを思い起こして形にしてみる。自由に新たな風景を想像する。



vol.2「いしのこえとみかげ」成果展

「見えないものが繋ぐ世界」を探究するアートユニット MATHRAX のお二人が、墓石見本を用いて「石にふれ、石の声をきく」作品を参加者とともに制作。各自が石について思いを巡らし、電子工作に挑みました。府中市郷土の森博物館の旧田中家住宅和室で行われた成果展にて、石との関係性を五感で体験する空間を実現しました。

02 ラッコルタ キャラバン

場を問わずキャラバンの、創造素材ラボとして作品づくりに取り組める機会を提供しています。見本や目的を設定せず、子どもや大人が自由な創造性を発揮するプロセスを重視したワークショップを不定期で開催。府中市や東京都の地域祭や企業のイベントなど、多様な場や空間に合わせて出展。自治体や民間企業からの開催依頼も受け付けています。



03 素材提供と使用事例アーカイブ

学校や福祉施設をはじめ、希望のある方々に素材を提供しています。使用状況をレポートしていただくことで、その場で実現された新たな視点をアーカイブし、素材の価値が変わり続ける過程と結果を記録し公開していきます。



「見慣れた世界の俯瞰を試みる」 美術家 三木麻郁さんを迎え、コロナ禍に自分の暮らしを新たな視点で捉え直すオンラインワークショップを開催。大人や子どもが自宅で、ダンボールパーツをつなげて自分だけのカタチを立ち上げます。それを生活空間に組み入れ、写真で共有。とりときハウスギャラリーにて、2週間かけて増殖し変わり続ける成果展を実施しました。



vol.1「暮らしの彫刻」成果展

2024年1月

vol.3「モノモノログ」

岡田裕子 + 株式会社サーカス (造形物、装飾品)

日常と非日常、現実と非現実のはざま。モノとの対峙から、それぞれの「想像」の物語が紡がれる。そんな独自の時間と空間を参加者とともに創り出す。



「日常の気付き」から想像力の演出で、近未来を問う」現代美術家岡田裕子さんが、不思議な素材を伴って、参加者を「想像」の世界へ導きます。視界を閉ざして身体で素材にふれながら、モノへの愛着を深めていくモノログを映像作品として 府中市美術館の市民ギャラリーで発表。社会的な役割や「使用する」こと以外のモノの価値が立ち上がる瞬間を共有しました。

わたしたち「ラッコルタ-創造素材ラボ-」と繋がりませんか？

素材を提供したい

ラッコルタでは、企業からの不要な素材提供を歓迎しています。モノや量をご連絡いただき、受け入れ可否を検討させていただきます。ご参加により、会社の業務や取り組みが紹介され、地域との繋がりを深める契機となります。

素材を使いたい

使用状況の簡単なレポートを提出いただくことを条件に、学校や福祉施設をはじめとした団体や、アーティストなど希望のある方々に創造素材を提供しています。

ワークショップや展示のイベントを開催したい

場の条件に合わせたワークショップや展示イベントを実行します。自治体や福祉施設、民間企業などを対象に、地域祭やSDGs系の行事としてオリジナルな企画を提案します。

空間や、協賛金を提供してサポートしたい

ラッコルタは、創造素材のディスプレイ場所や倉庫、協賛金、またプログラムのサポーターを常に募集しております！

お問い合わせ

NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ

メール : contact@acf-tokyo.com

ウェブサイト : <https://acf-tokyo.com/raccolta/>



ARTS COUNCIL TOKYO



Artist
Collective
Fuchu

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、

NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ (ACF)

(府中市市民活動センタープラッツ登録団体) 080-3424-0025

写真撮影：清田 大介、深澤 明子、芦沢 友紀子

「Artist Collective Fuchu[ACF]」は地域社会を担うNPOが東京都、アーツカウンシル東京と協働し、アートプロジェクトを実践する「東京アートポイント計画」として実施しています。社会に新たな価値観や人々の主体的な活動を生み出すための文化創造拠点をつくることを目指しています。